

平成25年8月2日

只見町議会議長 齋藤邦夫 様

経済文教常任委員会
委員長 新國秀一

経済文教常任委員会行政視察調査報告

本委員会の所管事項について、調査を行いましたので下記のとおり報告します。

記

1. 調査事項 地位産業及び教育の振興に関する調査
2. 調査場所 長野県栄村「道の駅信越さかえ」、「道の駅」視察11箇所、千葉県柏市議会
3. 調査日時 平成25年7月17日～19日
4. 出席者 新國秀一委員長、中野大徳副委員長、酒井右一委員
大塚純一郎委員、小沼信孝委員、石橋明日香委員

5. 調査内容

①「道の駅」視察

【視察目的】

今回の調査については、当町において構想を計画している「道の駅構想」が地域産業振興に寄与するものとなるため、当町と人口規模及び産業構造が類似しており、道の駅において地域特産品を開発・販売している事例を事前調査し、現地において視察調査したものである。様々な道の駅を視察することで、当町の「道の駅構想」策定の一助として反映させることを目的に実施した。

【視察場所1】 長野県栄村「道の駅信越さかえ」

○応対者 長野県栄村商工観光課長 齋藤文成氏

○研修内容

長野県栄村「道の駅信越さかえ」においては、当該施設の企画設計から建設に従事された商工観光課長より、施設の建設状況や道の駅の施設概要及び販売実績等について説明いただいた。栄村の人口構成や自然環境、地場産業などを踏まえ、村全体で取り組む姿勢については、当町でも見習うべきものがある。また、道の駅の運営についても、地域内産品が円滑に循環するような採算性のとれるシステムづくりを検討していく必要性を感じている。

【視察場所2】 「道の駅」視察（11か所）

視察県	視察場所
長野県 (7箇所)	道の駅千曲川
	道の駅とよた
	道の駅オアシス小布施
	道の駅さかきた
	道の駅小坂田公園
	道の駅信州蔦木宿

	道の駅はくしゅう
山梨県 (2箇所)	道の駅にらさき
	道の駅とよとみ
千葉県	道の駅しょうなん
福島県	道の駅よつくら港

○研修内容

視察調査の際には、施設外観から施設敷地内の展示配置及び販売状況のほか、従業員等から販売実績や施設運営における課題等について口頭により確認した。調査結果として、観光案内に重点をおいたものや物産販売に重点をおいたものなど、各施設により特徴を持ったものとなっている。当町においても、只見町にしかない特徴を持った道の駅構想について町民等と十分な協議を行い策定されるよう、今後町当局に働きかけていきたい。

【まとめ】

「道の駅」については、近隣町村でも建設されており、当町においても国道289号八十里越の早期開通などに備えた地域振興及び産業振興対策の観点から建設が必要である。町では、ユネスコエコパークへの登録申請をしていることから、観光PRの強化も含め、地場製品の販売促進に向けて「道の駅」建設構想を住民とともに進めていくべきである。

②只見高校振興対策に関する調査

【視察目的】

今回の調査は、教育委員会で取り組む「只見高校振興対策」の一つとして実施されている山村教育留学生制度について、今年度初めて千葉県柏市から3名の入学があったことから、御礼を兼ね今後の只見高校振興対策の取組み強化を支援することを目的に実施した。

【視察場所】 柏市議会

○応対者 副市長、教育委員会担当者、地域づくり推進部担当者
議会事務局担当者

○研修報告

千葉県柏市では、昨年度約3,000名の市内中学3年生の内3分の1程度が、公立高校以外の私立高校等に進学しており、その内、今回3名が只見高校に入学されている。柏市内の中学3年生の進路状況については、千葉県内だけでなく近隣都県への高校進学もあることから、柏市教育委員会においても只見高校進学を積極的に推進することは難しい状況ではあるが、只見高校ならではの特性について学校や保護者等に呼びかける活動を今後展開していきたいとのことである。

【まとめ】

当町教育委員会においても、姉妹都市である柏市で只見高校のPRを積極的に実施していることから、当委員会においてもその活動を積極的に支援し、将来にわたる只見高校の存続と併せ、生徒数の一層の拡大に繋げるべく協力していきたい。